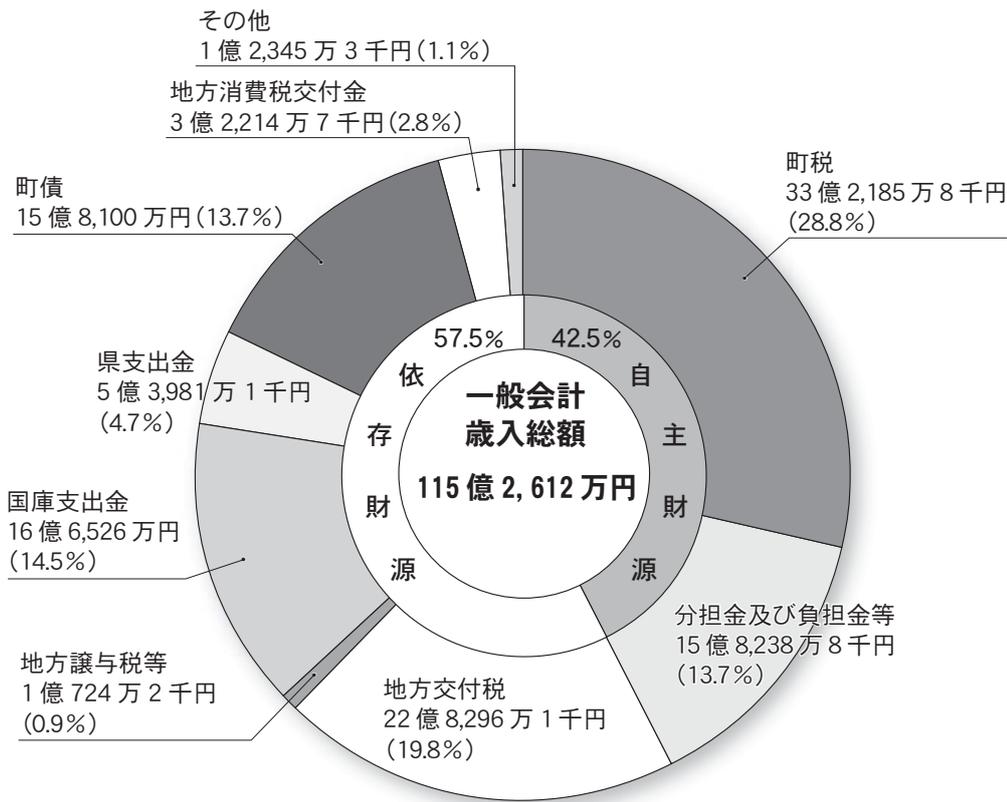


決算報告



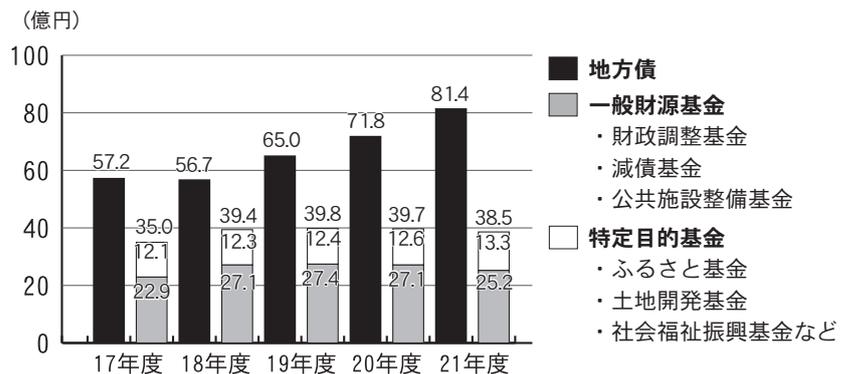
平成21年度の益城町一般会計および特別会計の決算が、9月の町議会定例会で承認されました。長びく不況等による厳しい財政状況の中、町の発展と福祉の充実を最優先に考え、限られた財源を町施策の充実のためさまざま事業に有効に使用しました。

一般会計では、歳入総額115億2,612万円に対し、歳出総額は、111億1,747万7千円、繰越事業分(1億5,989万7千円)を除く歳入歳出差引額は2億6,447万6千円の残額となりました。また、平成20年度の実質収支額5億7,370万円を差し引くと、単年度収支額は3億9,224万4千円の赤字となりました。なお、歳入歳出を前年度と比較すると、歳入で9億9,903万6千円(9.5%)、歳出で13億6,466万7千円(14.0%)それぞれ増加しました。

歳入

歳入では、構成比の高い町税(28.8%)が、前年度よりも1億6,739万5千円(△4.8%)と地方交付税(19.8%)が7,012万3千円(△3.0%)それぞれ減少しました。また、町税や使用料など町が独

過去5年間の地方債と基金の残高推移



町民1人当たりの額

- 地方債(借金) 約 **244,504円**
- 基金(貯金) 約 **115,764円**

町民1人当たりに対し
約 **333,516円**使われました。

※歳出総額を平成21年度末人口33,287人で算出しました。(一般会計のみ)